平成26年９月８日

各　位

株式会社ミマキエンジニアリング
代表取締役社長　小林久之
（ＪＡＳＤＡＱ　コード番号：６６３８）
問い合わせ先　取締役管理本部長　小林　修
電話：０２６８－６４－２２８１（代表）

シルバーインク搭載プリント&カット対応インクジェットプリンタ

CJV150-75/107/130/160 の販売開始に関するお知らせ

当社は、新開発SS21シルバーインクを搭載可能で、プリントとカットを１台で行える、ソルベントインクジェットプリンタ「CJV150-75/107/130/160」の販売を2014年10月より開始いたしますので、別紙のとおりお知らせいたします。

以上

ニュースリリース

2014 年 9 月 8 日

シルバーインク搭載プリント&カット対応インクジェットプリンタ

CJV150-75/107/130/160

『Mimaki のハイスペックエントリーモデル』

～エントリーモデルが省機能とは限らない～

株式会社ミマキエンジニアリング(本社/長野県東御市、代表取締役社長/小林　久之)は、新開発 SS21 シルバーインクを搭載可能で、プリントとカットを 1 台で行える、ソルベントインクジェットプリンタ「CJV150-75/107/130/160」の販売を 2014 年 10 月より開始いたします。

CJV150 は、エントリーモデルでありながら、当社の技術を詰め込み、高い性能を備えた高機能モデルです。ステッカーやラベル、パッケージ用途で特にご要望が多かったシルバーインクを新開発し、製作物に高い価値を与えます。また、当社の特許を含む画質コントロール技術が高画質を実現します。さらに、多様なニーズに応える様々なプリント&カット機能を搭載しております。美しく、速く、お客様に最適なソリューションをご提供いたします。

◎概　要

- **高付加価値を実現するシルバーインク**
  - ・高輝度を実現した SS21 シルバーインクを新開発
  - ・648 色の充実したメタリックカラーコレクション
- **オレンジ、ライトブラックインクで忠実な色再現**
  - ・コーポレートカラーや食品などの鮮やかな色彩を表現するオレンジインク
  - ・グレースケール画像の色転びや、トーンジャンプのない美しいグラデーション表現するライトブラックインク
- **ミマキ独自の画質コントロール技術**
  - ・高い着弾位置精度を実現する『波形コントロール』
  - ・ドットサイズを最適化する『3Way インテリジェントヒーター』
  - ・バンディング、色ムラを軽減する『MAPS3』
- **多様なニーズに応えるプリント＆カット機能**
  - ・ロール 1 本の連続カットが可能な『連続トンボ読取り機能』
  - ・切り残しをなくし、美しくカットする『オーバーカット、コーナーカット機能』
  - ・長尺モノのカットも正確に行う『中間トンボ機能』
  - ・カット後にプリントを行うことで剥がれやカット不良を防止する『カット&プリント機能』



◎主な特長

1. 高付加価値を実現するシルバーインク

1) 高級感のあるシルバー、メタリック表現

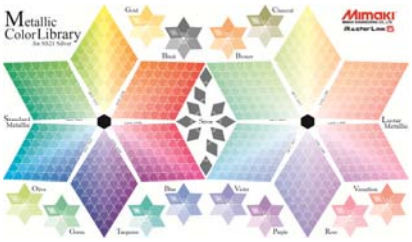
新開発の SS21 シルバーインクは従来のシルバーインクに比べ約 1.67 倍(※1)の輝度を実現しました。輝度が上がることにより、鏡面のような美しい輝きを放つ高級感のあるシルバーとメタリック表現が可能になります。

※1:当社調べ　ES3 シルバーインクと比較



2) 簡単な操作で高級感あるメタリック表現が可能

648 色のメタリックカラーコレクションを『RasterLink6』から簡単に出力可能。コレクションを元に Illustrator のスウォッチから色を選択するだけでメタリックカラーの指定は終了。簡単に SS21 シルバーインクが実現する高級感のあるメタリックカラーをご使用いただけます。



①RasterLink6 からカラーコレクションをプリント



②コレクションを元に Illustrator のスウォッチで色を選択

2. オレンジ、ライトブラックインクで忠実な色再現

1) オレンジインク

SS21 のオレンジインクを新開発。プロセスカラーとして追加することで PANTONE カラーを近似色で約 94.8%カバーしました。色域を拡大することで、コーポレートカラーの再現や、食品のみずみずしさの表現が可能になります。



オレンジインク**あり**　　オレンジインク**なし**

2) ライトブラックインク

新開発の SS21 ライトブラックインクは、グレースケール出力時に色転びや、トーンジャンプのないグレーバランスを実現します。モノクロデータの忠実な色再現や、スムーズなグラデーション表現が可能になります。



ライトブラックインク**あり**　　ライトブラックインク**なし**

ライトブラックインク**あり**　　ライトブラックインク**なし**

3. ミマキ独自の画質コントロール技術

1) 波形コントロール技術

インクは色によって比重、粘度が異なります。吐出時の波形を最適にコントロールすることで、インクを真球に近い状態で真っ直ぐに吐出。真円に近い形でメディアに着弾させることで高画質を実現します。高い着弾精度を活かし、最小 4pl から最大 35pl のドットサイズを印刷条件に合わせて自動で選択することで、高画質で美しいプリントから、生産性を求められる高速プリントまで状況に応じて最適なプリントを可能にします。

■真円に近い形で吐出した場合



■真円ではない状態で吐出した場合



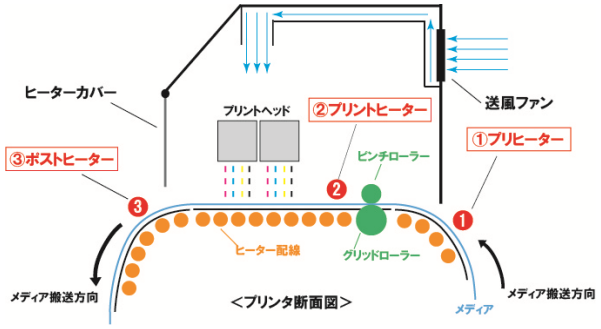
2) ドットサイズを最適化する『3Way インテリジェントヒーター』

メディアの温度が適正でないと、高精度で吐出したインクも最適なサイズで定着しません。

CJV150 は当社が特許を取得している 3Way インテリジェントヒーターを搭載し、メディアをプリントに最適な温度に保つことで高画質を実現します。3 つそれぞれのヒーターの役割は右下の図をご参照下さい。

■特許番号■　日本:4889059　　米国:8.444.262　　中国:ZL 200910222559.8





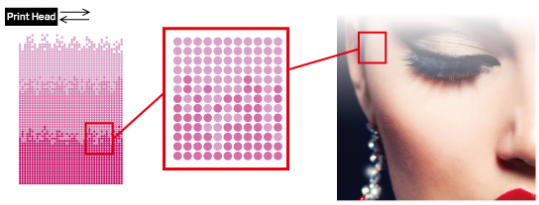
①プリヒーター
プリント時にメディアが最適な温度になるように予備加熱を行います。

②プリントヒーター
適正温度に加熱したメディアに着弾したインクが適正に乾燥することで定着性と発色性を向上させます。

③ポストヒーター
インクの乾燥を促進することで滲み等を防ぐと共に、巻取りを安定させま

3) 安定して高画質プリントを可能にする『MAPS3』

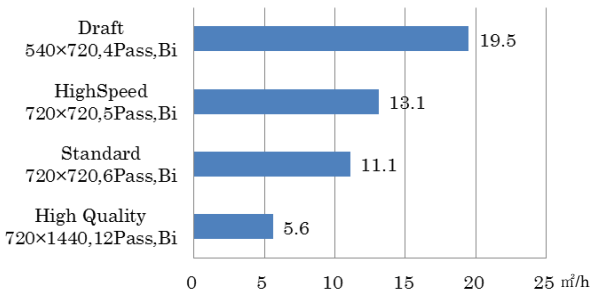
通常、パスの境界は直線になるため少しのズレにより、横シマが出るバンディングや、色ムラの原因になります。「MAPS3」(Mimaki Advanced Pass System 3)ではパスの端を拡散させ、境界線をグラデーションのようにすることでバンディングや色ムラの発生を軽減します。



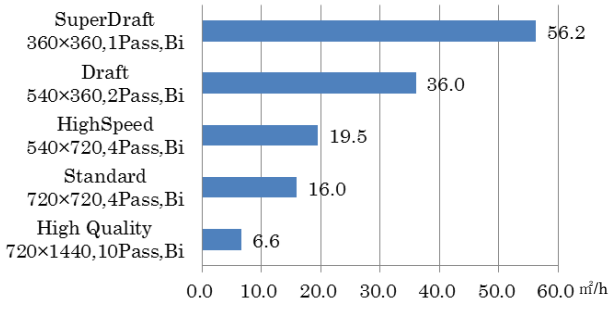
4) 高速プリントを実現する純正 SS21 インク

当社の技術を集結させたソルベントインク『SS21』は、メディアへの浸透性と溶剤の揮発性のバランスが良く高い乾燥性を実現しております。それにより、高速モードで使用してもにじみが発生しにくく、高濃度でのプリントが可能です。乾燥速度が速いので、プリント速度の速いモードでもブロッキング(巻取り時にインクの未乾燥が原因で発生するメディアの張り付き)が起きにくく、高い生産性を可能にします。

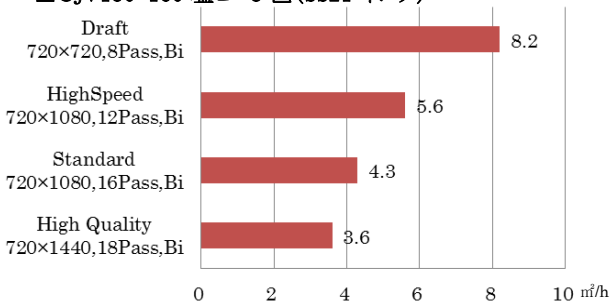
■CJV150-160 塩ビ　4 色(SS21 インク)



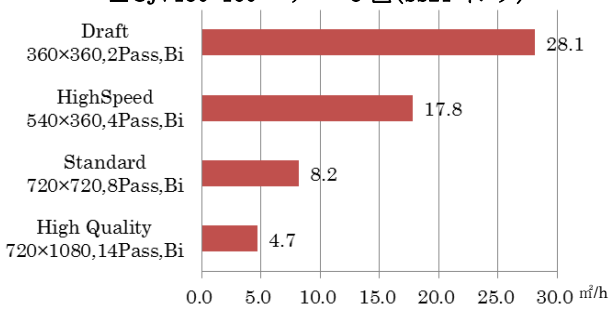
■CJV150-160 バナー　4 色(SS21 インク)



■CJV150-160 塩ビ　8 色(SS21 インク)



■CJV150-160 バナー　8 色(SS21 インク)



4. 多様なニーズに応えるプリント＆カット機能

1） 連続トンボ読取機能

RasterLink6 で配置したトンボを自動で読取り自動補正を行いながら正確にカットします。

2） オーバーカット、コーナーカット機能

カットの開始点と終了点をオーバーラップさせるオーバーカット機能を使えば、厚いメディアや粘り気のあるメディアでも切り残し無くカットできます。また、開始点と終了点だけでなく、全ての角をオーバーラップするコーナーカット機能を搭載。シャープなカットが可能です。

3） 中間トンボ機能

中間トンボを付けることで、位置補正を複数回行うことで、長尺の画像でも正確に輪郭をカットできます。

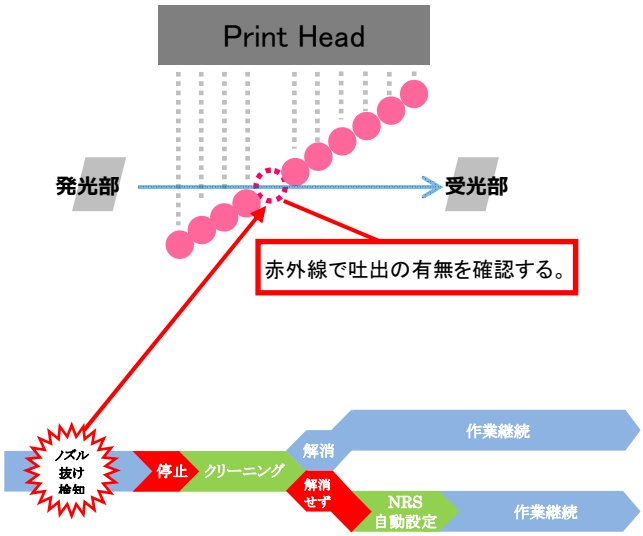
4） カット＆プリント機能

熱転写ラバーシート等薄いメディアを使うときに起こりやすい「剥がれ」や「カット不良」を防ぐ「カット＆プリント機能」も搭載。先にカットを行ってからプリントすることで、作業効率がアップします。

5.「仕事を止めない」連続運転ソリューション

1) 自動でノズル抜けを検出、解決する『NCU（Nozzle Check Unit）』

ノズルの状態をセンサーが自動で検知します。ノズル抜けを発見した場合は自動でクリーニングを実行しノズル抜けの解消を行います。クリーニングでもノズル抜けが解消しない場合は、『NRS』が自動でノズルリカバリーの設定を行いプリントを再開。連続出力時のノズル抜けによるメディアのロスを最小に抑えます。ノズルの状態を確認するタイミングは転送ファイルごと、または時間単位で設定が可能です。



2) 生産性を維持するための『NRS（Nozzle Recovery System）』

クリーニングしても改善されないノズルトラブルはサービスマンによる修理が必要になり、それが終わるまではプリンタを停止する必要がありました。NRS は問題のあるノズルを別のノズルで代替してプリントを再開できるため、サービスマンの修理を待つこと無くプリントを再開。生産性を維持できます。

◎主な仕様

項　目		CJV150-75/107/130/160 仕様			
		CJV150-75	CJV150-107	CJV150-130	CJV150-160
プリントヘッド		オンデマンドピエゾヘッド			
プリント分解能		360dpi、540dpi、720 dpi、1,080 dpi、1,440 dpi			
最大作図幅		800mm	1,090mm	1,361mm	1,610mm
最大メディア幅		810mm	1,100mm	1,371mm	1,620mm
インク	種類/色	エコソルベントインク ・SS21（C,M,Y,K,Lc,Lm,Lk,Or,W,Si） 水性昇華インク ・Sb53（B,M,Y,Dk,K,Lb,Lm） ※CJV150-75 に Sb53 インクの搭載はできません。			
	容量	SS21：440ml インクカートリッジ/2L インクパック （W,Si は 220ml カートリッジのみ） Sb53：440ml インクカートリッジ/2L インクパック ※2L インクパックをご利用いただくには別売りオプションの MBIS3(Mimaki Bulk Ink System3)が必要。			
	循環	MCT （Mimaki Circulation Technology）（W,Si のみ）			
メディア厚み		1．0mm 以下			
ロール重量		40kg 以下			
適合規格		VCCI クラス A / FCC クラス A / UL 60950-1 準拠 ETL CE マーキング（EMC 指令、低電圧指令、機械指令） / CB 認証 RoHS 対応 / REACH・エナジースター・（CCC 取得予定）/RCM			
インターフェイス		USB 2.0、LAN（イベントメール用）			
電源仕様		単相（AC100～120V / AC220～240V）			
消費電力		100V 系：1.44kVA×1 以下　200V 系：1.92kVA×1 以下			
動作環境		使用可能温度：20℃～30℃、湿度 35～65％Rh（結露なきこと）			
外形寸法（W×D×H）		1,965mm×700mm×1,392mm	2,255mm×700mm×1,392mm	2,525mm×700mm×1,392mm	2,775mm×700mm×1,392mm
重量		126kg	142kg	157kg	168kg

※記載の仕様、デザイン、寸法などは、技術改善等により予告なく変更する場合があります。

◎販売価格　CJV150-75　148 万円（税別）
CJV150-107　168 万円（税別）
CJV150-130　198 万円（税別）
CJV150-160　228 万円（税別）

◎販売開始　2014 年 10 月

◎販売目標　1,500 台/年間

◎お問い合わせ先

株式会社ミマキエンジニアリング
グローバルマーケティング部　所　康武
長野県東御市滋野乙 2182-3
TEL：0268-64-2281 / FAX：0268-64-2285